

終わりの時を簡単に要約する

2014年9月26日 アシェル・イントレーター

終わりの時には三つの出来事が起こり、それらはすぐにやってきます。それらを以下に要約することができます。

1. 艱難
2. 再臨
3. 千年王国

艱難は世界的な困難の一連の出来事で、それはイスラエルに対する諸国による攻撃によって頂点に達します(マタイ。24)。再臨はその戦争のピーク、すなわちエルサレムが敵の勢力によって圧倒されそうになる瞬間に起こります(ゼカリヤ 14 章)。千年王国は神の地上における千年間の平和と繁栄の王国で、イエシュアが王として君臨されます(黙示録 20 章)。

「艱難」という言葉はヘブライ預言者が述べた「ヤコブの悩みの時」につながっています(エレミヤ 30:7、ダニエル 12:1)。この時、困難だけでなく、リバイバル、伝道、超自然的な守り、教会の聖化、そしてイスラエルの回復も起こります。

再臨はイエシュアによる、YHVH の軍の総大将として悪の勢力を打ち負かす「最後の瞬間の介入です。(黙示録 19)。その時、悪魔は追い出され、死者がまず復活し、真の信者は超自然的に「運ばれて」イエシュアを地上にお迎えするのです。

この大いなる戦争の後、メシア王国が始まります。エルサレムは世界の政治的、霊的な首都となります。政府はイエシュアと、主と共に支配する者達によって治められます。この義なる社会において、大いなる平和、繁栄と正義があります。

この第一世紀の間、三つの主要な出来事がありました(十字架、復活そしてペンテコステ)。これらの三つの出来事は三つ春の聖なる祝祭日に起こりました(過越の祭り、初穂の祭り、七週の祭り)。それは聖書的であり理論的であるので、終わりの時の出来事は三つの秋の聖なる祝祭日に起こります(ラツパを吹き鳴らす祭、大贖罪日そして仮庵の祭り)。

秋の聖なる祝祭日と終わりの時のつながりを次のように要約することができます：

1. ラツパを吹き鳴らす祭=艱難
2. 大贖罪日=再臨

3. 仮庵の祭り=千年王国

世界の政治的、経済的、社会的状況はこれらの出来事に向かって、すでに進んでいます。イエシュアはこれを女性の出産の過程と比較しています。痛みは最初は軽く始まり、その間隔は開いていますが、それが徐々に狭まり痛みが来るのが早くなります(ヨハネ 16:21)。

私たちの前にあるこれらの時の間、私たちが勝利することができるよう私たちが悔い改め、私たちの信仰を強めることを、緊急に行わなければなりません。

シオンでラツパを吹き鳴らす

ポール・ウィルバー

以下に、私たちの新しい YouTube チャンネルがあり、最近の動画を見る事ができます。特に、フロリダ州ジャクソンビルでの特別な安息日礼拝において、私たちが主催しアシェルとベティを迎えての、9月の「最初の金曜日」礼拝をご覧ください。

ヨエル書からのこのメッセージは角笛が現代で吹き鳴らされる預言的な重要性に重点をあてています。それは私たちを目覚めさせ、神の声を聞き、そしてすぐに帰って来られるイエシュアをお迎えする準備を行う、というものです。ご覧になる場合こちらを[クリック](#)して下さい。(英語)

大贖罪日(ヨム・キプール)

10月3~4日に、エルサレム地域にある五つのコングリゲーションがヤッド・ハシュモナに集まり、年次ヨム・キプール集会を行います。そこで賛美、断食、執り成しの祈りそして交わりを共に行います。どうか今月の、この集会の費用を支援することをご検討頂けると幸いです。そうすることによって、より多くの家族が、費用がかかるという事で参加を取りやめる事なく参加できるようになるでしょう。ご支援頂ける場合、こちらを[クリック](#)して下さい。(英語)

ガザ市民、ハマスに反対する声をあげる

ゲートストーン・インスティテュート(石の門協会)

世界のメディアがガザ市民の死に関して、「境界防衛作戦」を展開しているイスラエルを非難している中、一人の特派員はガザ市民自身が声を上げ、彼らがどのように述べるのかを報道する事にしたと、ガザのテレビ制作者である M 氏が述べました。

「ハマスはイスラエルよりもパレスチナ人にとって脅威だ。ハマスは私たち[パレスチナ人]を殺し、若い男性を高い建物から投げ落とす事によって、ガザを乗っ取りました。これがハマスであり、殺人と力を誇示するのです。その指導者はエジプトによる停戦の提案を拒絶し、イスラエル人によって強く衝撃を受けて、そして戦争が終了すると、彼らは勝利を宣言したのです。

「イスラエルが醜く見えるよう、ハマスは死体を欲するのです。西洋メディアはガザ市民の死者が出るたびにイスラエルに強烈なプレッシャーをかけてきました。そういう意味において、ハマスの戦略は効力を発揮してきました。もちろんハマスは、彼らがその目的を達成するならば、私たち(訳者加:パレスチナ人の事)全員が死んだとしても気にしないでしょう。カタールのシーク(訳者注:イスラム教指導者)はハマスの神です。彼がハマスに何億とお金を渡し、彼らに何をすべきか指示をするのです。」

記事全体を読むためにはこちらを[クリック](#)(英語)

ヤッド・ハシュモナ建築プロジェクトの最新情報

ここヤッド・ハシュモナにおいて、その。建築プロジェクトは心躍る段階に入ってきています。多くのセメントが新しい家やワイナリーの基礎に流しこまれています。どうかこのメシアニック・キブツで現在行われているすべての建築を皆様の祈りの中に継続して加えて下さい。

中東ニュース

誘拐者が捕らえられた-3ヶ月の複雑な諜報活動の末、イスラエル諜報部隊は、3人のイスラエル人の若者の誘拐者であり殺人犯であるマルワン・カワスメとアマル・アブ・アイシャ(二人とも30代)の隠れ家を特定しました。これが原因で、最近のガザでの戦争が勃発しました。イスラエル特殊警察がヘブロンにあるその家を包囲し、彼らを逮捕しました。彼らが銃を撃ちながら家から出て来た時、彼らはすぐに警察によって射殺されました。

シリアの戦闘機が撃墜される-水曜日の朝9時に、イスラエルに向かう一機のシリアのミグ戦闘機がレーダーで発見されました。それがイスラエル国境線を越えた時、それを追撃するよう決定が下されました。その80秒後、パトリオット・ミサイルが戦闘機を撃ち落としました(ミサイル一発につき費用が2百万ドルする)。

モサドの諜報員が亡くなる-今週、1950年代から80年代にかけてのイスラエルのモサド諜報員であった伝説的なマイク・ハリリ氏が亡くなりました。彼はモサドでの多くの最高機密作戦を実行してきました。(例えば、1973年のミュンヘンで、イスラエル人オリンピック選手を殺した「黒い9月」テロリスト

を捜索し殺害する作戦を含む)。彼はスパイ映画や小説にあるような事を実際にやって来た人でした。